



## 2020年度プレハブ住宅完工戸数実績及び生産能力調査報告

一般社団法人プレハブ建築協会（会長：堀内容介 積水ハウス㈱代表取締役副会長執行役員）では、当協会加盟会員に対して、「プレハブ住宅完工戸数実績調査及び生産能力調査」を実施しました。

この調査は、プレハブ住宅の完工状況及び生産能力の推移を的確に把握し、プレハブ住宅の基礎資料として広く情報提供するものです。

このほど、2020年度（2020年4月～2021年3月。以下同じ。）の調査結果をまとめましたので、「2020年度プレハブ住宅完工戸数実績調査及び生産能力調査報告書」として発表いたします。

調査結果概要は次のとおりです。

### 1. 総論（本文 P4～5）

2020年度に完工されたプレハブ住宅の総数は118,228戸で、2019年度（135,783戸）に比べて17,555戸（対前年度比87.1%）の減少となった。なお、全新設住宅着工戸数に対するプレハブ住宅完工戸数の割合は14.6%（2019年度は15.4%）であった。

2020年度末のプレハブ住宅年間生産能力は268,001戸分で、2019年度に比べて25,851戸分の減少となった。稼働率は44.1%で、前年度と比較して2.1ポイントの減少となった。

### 2. 構造別完工戸数（本文 P6）

構造別でみると、木質系住宅は、13,370戸（対前年度比93.1%）と2年連続の減少となった。

鉄鋼系住宅は、99,322戸（同比86.9%）と4年連続の減少となった。

コンクリート系低層住宅は、515戸（同比91.8%）と減少傾向が続いている。

コンクリート系中高層住宅は、5,021戸（同比76.3%）と2年連続の減少となった。

### 3. 建方別・階層別完工戸数（本文 P7）

建方別・階層別傾向を一戸建住宅、低層共同建住宅、中高層共同建住宅でみると、一户建住宅は42,652戸（対前年度比89.1%）で、2年連続の減少となった。

低層共同建住宅は26,103戸（同比76.5%）で、5年連続の減少となった。

中高層共同建住宅は49,473戸（同比92.0%）で、3年連続の減少となった。

### 4. 賃貸住宅完工戸数（本文 P8）

賃貸住宅のプレハブ住宅完工戸数は61,230戸であり、内訳を構造別にみると、木質系2,127戸、鉄鋼系57,588戸、コンクリート系1,515戸となっている。なお、全賃貸住宅着工戸数に対するプレハブ賃貸住宅完工戸数の割合は20.2%で、前年度と比較して1.1ポイントの低下となった。

### 5. 長期優良住宅完工戸数（本文 P10）

長期優良住宅のプレハブ住宅完工戸数は36,492戸であり、プレハブ住宅完工総数の30.9%を占めている。この比率は、前年度より1.1ポイント上昇し、4年連続の増加となった。内訳を構造別にみると、木質系8,355戸、鉄鋼系27,922戸、コンクリート系215戸となっている。また、内訳を建方別にみると、一户建35,782戸、共同建710戸となっている。

一户建住宅について長期優良住宅率（プレハブ住宅完工戸数に占める長期優良住宅の割合）は、木質系が77.1%、鉄鋼系が87.1%、コンクリート系が10.6%、全体では83.9%であった。

（注1）長期優良住宅とは、「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」に基づき、耐震性、耐久性、省エネルギー性、バリアフリー性等に優れ、維持管理計画が策定された長期にわたり良好な状態で使用出来る住宅として所管行政庁から認定を受けた住宅。

## 6. ZEH（一戸建）完工戸数（本文 P11）

ZEH（一戸建）のプレハブ住宅完工戸数は26,883戸であり、内訳を構造別にみると、木質系6,064戸、鉄鋼系20,819戸、コンクリート系0戸となっている。

一戸建住宅について ZEH 率（プレハブ住宅完工戸数に占める ZEH の割合）は、木質系が56.7%、鉄鋼系が66.0%、コンクリート系が0.0%、全体では63.0%であった。この比率は、前年度より11.4ポイント上昇し、5年連続の増加となった。

（注2）ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅。

## 7. 地域別・都道府県別完工戸数（本文 P12～13）

地域別のプレハブ住宅完工戸数では、大都市および隣接県に集中する傾向に大きな変化はなく、2020年度も関東、中部、近畿の3地域を合計すると、プレハブ住宅総計で79.1%（前年度78.3%）、一戸建が73.9%（同73.1%）、低層共同建が75.2%（同73.0%）、中高層共同建が85.8%（同86.3%）であった。

都道府県別のプレハブ住宅完工戸数では、1万戸を超えた都道府県は東京都、神奈川県のみであった。なお、プレハブ住宅比率（プレハブ住宅完工戸数の全新設住宅着工戸数に対する割合）は、高い順に、奈良県（23.7%）、栃木県（23.7%）、石川県（23.2%）であった。

## 8. 上位社の完工戸数・シェア（本文 P31）

一戸建住宅、低層共同建住宅、中高層共同建住宅の各部門における上位社のシェアをみると、まず一戸建住宅では、上位10社で99.6%と17年連続で99%台を示し、シェアに大きな変化はない。特にトップグループを形成している上位5社だけでシェアが83.3%とプレハブ住宅の一戸建市場の大部分を占めている。また、6位から10位の間5社のシェアは、5社合計で16.3%であった。

低層共同建住宅については上位5社のシェアは89.4%であり、中高層共同建住宅については上位5社のシェアは88.7%であった。

（調査結果の留意点）

本調査は、住宅の完工時点で捉えているので、国土交通省の「建築着工統計調査」と調査時点が異なる。従って、全新設住宅着工戸数に対するプレハブ住宅の割合については、便宜上、着工・完工といった調査時点が異なるものを比較して算出している。

以上

<本件に対するお問い合わせ先>

一般社団法人 プレハブ建築協会  
広報部（担当：木下、久保田）電話：03-5280-3125  
メールアドレス：kouho@purekyo.or.jp

# プレハブ住宅完工戸数実績調査 及び生産能力調査報告書

2020 年度実績

2021 年 9 月

## 調査の概要

① 調査の目的・方法	2
② 調査対象期間	2
③ 調査対象企業数及び回答率	2
④ 用語の解説	2
⑤ その他	3

## 調査結果分析

① プレハブ住宅完工戸数・プレハブ住宅比率の推移、プレハブ住宅生産能力・稼働率の推移	4
② 構造別・建方別・階層別実績の推移	6
③ 階数別実績と賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅の実績	8
④ 公的機関発注完工戸数実績	9
⑤ 長期優良住宅実績	10
⑥ ZEH 実績（一戸建）	11
⑦ 都道府県別実績	12
⑧ プレハブ住宅生産能力	19
（参考）災害時における応急仮設住宅の建設	20

## 資料編

資料 ① 都道府県別、構造別完工（戸数、プレハブ住宅比率）	23
資料 ② 都道府県別、構造別一戸建完工（戸数、プレハブ住宅比率）	24
資料 ③ 都道府県別、構造別共同建完工（戸数、プレハブ住宅比率）	25
資料 ④ 都道府県別、構造別賃貸住宅完工（戸数、プレハブ住宅比率）	26
資料 ⑤ 都道府県別、構造別長期優良住宅完工（一戸建）（戸数、プレハブ住宅比率）	27
資料 ⑥ 都道府県別、構造別長期優良住宅完工（共同建）（戸数、プレハブ住宅比率）	28
資料 ⑦ 都道府県別、構造別 ZEH 完工（一戸建）（戸数、ZEH 率）	29
資料 ⑧ 都道府県別、構造別公的機関発注完工（戸数）	30
資料 ⑨ 建方別、階層別、構造別 上位社（戸数、シェア）	31
資料 ⑩ プレハブ住宅工場所在地（木質系、鉄鋼系、コンクリート系低層、コンクリート系中高層）	32

## 1

### 調査の目的・方法

本報告書は、当協会加盟の会員企業を対象として、プレハブ住宅の普及発展を図るための基礎資料として役立てることを目的に、『プレハブ住宅完工戸数実績調査及び生産能力調査』を実施し、プレハブ住宅の完工状況と生産能力をまとめたものである。従って、国土交通省の「建築着工統計調査」とは調査時点等が異なる。

## 2

### 調査対象期間

2020年度(2020年4月～2021年3月)を対象に、2021年5月～6月に『プレハブ住宅完工戸数調査票及び生産能力調査票』を配布、回収し、2021年9月に本報告書としてまとめたものである。

## 3

### 調査対象企業数及び回答率

調査対象企業数・回答企業数・回答率のそれぞれは表1の通りである。

表1 調査対象企業数及び回答率

	調査企業数	回答企業数	回答率
2020年度	77社	77社	100%

## 4

### 用語の解説

#### <構造>

##### プレハブ住宅

住宅の主要構造部の壁、柱、床、はり、屋根又は階段等の部材を機械的方法で大量に工場生産し、現場において、これらの部材により組立建築を行う住宅をいう。

##### ユニット工法

工場生産したユニットを現場で組み立てて建築するプレハブ工法の一つ。工場外壁から内装、配線など完成に近い状態まで仕上げた箱型のユニットを建設現場へ運び、組み立てて建築するもの。

##### 木質系(非ユニット)

プレハブ住宅のうち、主要構造部が木造で、工場生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもので、ユニット工法以外のもの。

##### 木質系(ユニット)

プレハブ住宅のうち、主要構造部が木造で、工場生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもので、ユニット工法のもの。

##### 鉄鋼系(非ユニット)

プレハブ住宅のうち、主要構造部が鉄骨造で、工場生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもので、ユニット工法以外のもの。

##### 鉄鋼系(ユニット)

プレハブ住宅のうち、主要構造部が鉄骨造で、工場生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもので、ユニット工法のもの。

##### コンクリート系

プレハブ住宅のうち、主要構造部がコンクリート造で、工場生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもの。

#### <建 方>

##### 一戸建

建築確認申請上、1棟1戸であるもの。

(店舗、事務所、倉庫、診療所等の各種併用住宅を含む。)

##### 共同建

一戸建でないもの。1棟2戸以上の共同住宅や長屋建を含む。

※二世帯住宅や賃貸併用住宅などで、確認申請上1棟2戸以上のものは共同建を含む。

#### <その他>

##### 長期優良住宅

「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」に基づき、耐震性、耐久性、省エネルギー性、バリアフリー性等に優れ、維持管理計画が策定された長期にわたり良好な状態で使用できる住宅として所管行政庁から認定を受けた住宅。

##### ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅。

##### 発注者が公的機関であるもの

公的機関とは民間以外のもの。

※発注者が国、地方公共団体、UR都市機構等独立行政法人、地方住宅供給公社等のもの。

#### <利用関係>

##### 賃貸住宅

建築主が賃貸する目的で建築するもの。

##### サ高住 (サービス付き高齢者向け住宅)

「高齢者の居住の安定確保に関する法律」に基づき、「サービス付き高齢者向け住宅」として、都道府県知事等地方公共団体に登録されたもの。

## 5

## その他

2015年度の調査から用語の定義及びルールの明確化等を行ったことにより、時系列統計で2014年度以前と多少不連続なものがある。

本調査は、住宅の完工時点で捉えているため、国土交通省の「建築着工統計調査」と調査時点が異なる。従って、全新設住宅着工戸数に対するプレハブ住宅の割合については、便宜上、着工・完工といった調査時点が異なるものを比較して算出している。

## 総論

(プレハブ住宅完工総戸数の状況)

□2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)のプレハブ住宅完工総数は、118,228戸。前年度比12.9%の減少となった。

□プレハブ住宅完工戸数の推移をみると、2010年度・2011年度には13万戸台まで減少、その後は回復基調となっていたが、2017年度以降4年連続で減少した。

(プレハブ住宅完工戸数の全住宅着工戸数に対する割合。以下「プレハブ住宅比率」と記述)

□同年度の全着工戸数(国土交通省建築着工統計調査2020年度)に対するプレハブ住宅比率は14.6%と前年度より0.8ポイントの低下となった。

□プレハブ住宅比率は2014年度に17.8%となったものの、その後6年連続で低下している。

(プレハブ住宅生産能力)

□2020年度のプレハブ住宅生産能力は、生産工場数が140工場、生産能力戸数が268,001戸であった。

□2019年度と比較して、工場数は変わらず、生産能力戸数は25,851戸の減少となった。

□生産能力戸数の構成比を構造別にみると、木質系9.4%、鉄鋼系60.9%、コンクリート系低層8.1%、コンクリート系中高層21.6%であった。

表1 プレハブ住宅完工推移（戸数、プレハブ住宅比率）、プレハブ住宅生産能力推移（戸数、稼働率）

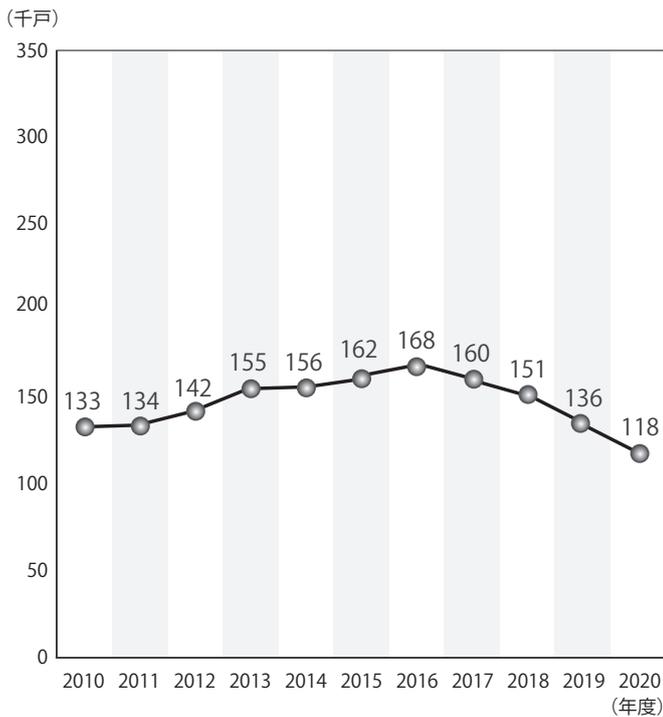
		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比		
プレハブ住宅完工戸数	A	168,443戸	103.8%注2	159,629戸	94.8%	150,858戸	94.5%	135,783戸	90.0%	118,228戸	87.1%
全新設住宅着工戸数注1	B	974,137戸	105.8%	946,396戸	97.2%	952,936戸	100.7%	883,687戸	92.7%	812,164戸	91.9%
プレハブ住宅比率	A/B	17.3%	-0.3pt注3	16.9%	-0.4pt	15.8%	-1.1pt	15.4%	-0.4pt	14.6%	-0.8pt
プレハブ住宅生産能力数	C	273,691戸	103.5%	291,001戸	106.3%	297,903戸	102.4%	293,852戸	98.6%	268,001戸	91.2%
プレハブ住宅生産稼働率	A/C	61.5%	-1.3pt	54.9%	-6.6pt	50.6%	-4.3pt	46.2%	-4.4pt	44.1%	-2.1pt

（注1）国土交通省「建築着工統計調査」（2020年度）

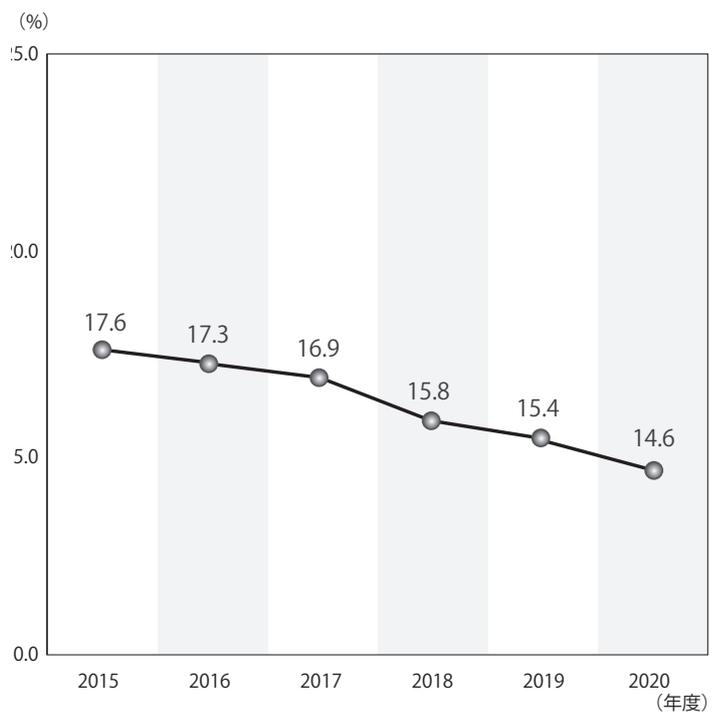
（注2）%の数値は今年度戸数÷前年度戸数。

（注3）ptの数値は前年度との比率の差をポイントとしてptで表記。

グラフ1 プレハブ住宅完工戸数



グラフ2 プレハブ住宅比率の推移



（注）プレハブ住宅比率とはプレハブ住宅完工戸数の全住宅着工戸数に対する割合

（参考）人口・世帯数推移

	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年	
	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	
全国の人口※	128,066,211人	99.88%	127,907,086人	99.88%	127,707,259人	99.84%	127,443,563人	99.79%	127,138,033人	99.76%
全国の世帯数※	56,950,757世帯	100.95%	57,477,037世帯	100.92%	58,007,536世帯	100.92%	58,527,117世帯	100.90%	59,071,519世帯	100.93%

（注）各年1月1日現在の数値である。（外国人を含む）

※「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（総務省）

## (1) 構造別実績の推移

## (木質系住宅の状況)

- 2020年度の木質系住宅完工総数は、13,370戸。
- 木質系住宅完工戸数の推移は、2016年度には2万戸を超えていたが、2017年度は前年度比9.6%の減少、2018年度はほぼ横ばい、2019年度は同23.5%の減少、2020年度は同6.9%の減少となった。

## (鉄鋼系住宅の状況)

- 2020年度の鉄鋼系住宅完工総数は、99,322戸。
- 鉄鋼系住宅完工戸数の推移は、増加傾向が継続していたが、2017年度は前年度比5.8%の減少、2018年度は同8.2%の減少、2019年度は同6.2%の減少、2020年度は同13.1%の減少となった。

## (コンクリート系低層住宅の状況)

- 2020年度のコンクリート系低層住宅完工総数は、515戸。前年度比8.2%の減少となった。
- コンクリート系低層住宅完工戸数の推移は、2012年度をピークに、以後減少傾向が続いている。

## (コンクリート系中高層住宅の状況)

- 2020年度のコンクリート系中高層住宅完工総数は、5,021戸。前年度比23.7%の減少となった。
- コンクリート系中高層住宅完工戸数の推移は、年度によって増減のバラツキが大きい。

表 2-1 構造別推移 (戸数、前年度比)

	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	年度	対前年度比	年度	対前年度比	年度	対前年度比	年度	対前年度比	年度	対前年度比
木質系	20,782戸	98.5%	18,782戸	90.4%	18,786戸	100.0%	14,367戸	76.5%	13,370戸	93.1%
鉄鋼系	140,924戸	105.2%	132,681戸	94.2%	121,815戸	91.8%	114,272戸	93.8%	99,322戸	86.9%
コンクリート系低層	711戸	99.4%	629戸	88.5%	563戸	89.5%	561戸	99.6%	515戸	91.8%
コンクリート系中高層	6,026戸	92.8%	7,537戸	125.1%	9,694戸	128.6%	6,583戸	67.9%	5,021戸	76.3%
合計	168,443戸	103.8%	159,629戸	94.8%	150,858戸	94.5%	135,783戸	90.0%	118,228戸	87.1%

(2) 建方別・階層別実績の推移

(一戸建の状況)

□ 2020年度の一戸建は、42,652戸。前年度比10.9%の減少となった。

□ 一戸建は、2014年度以降は、2018年度を除いて、減少傾向が続いている。

(共同建の状況)

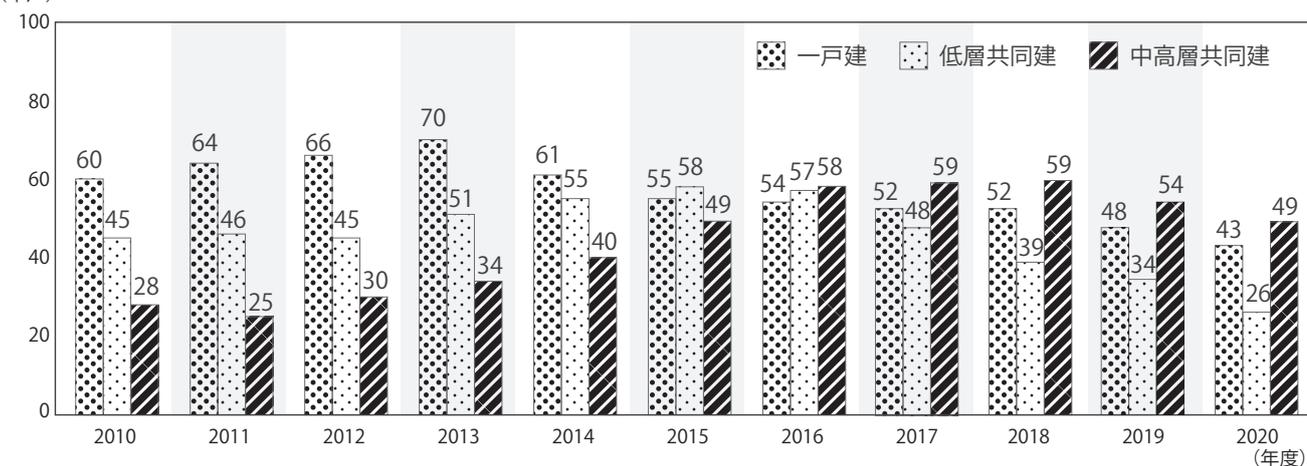
□ 2020年度の共同建は、75,576戸。前年度比14.0%の減少となった。

□ 共同建は2011年度以後増加を続けていたが、2017年度以降は4年連続で減少となった。

表 2-2 建方別、階層別、構造別完工推移 (戸数、前年度比)

		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		
		年度	対前年度比									
一戸建	低層	木質系	12,599戸	99.3%	11,633戸	92.3%	12,695戸	109.1%	10,517戸	82.8%	10,420戸	99.1%
		鉄鋼系	37,901戸	99.2%	37,399戸	98.7%	36,361戸	97.2%	34,331戸	94.4%	29,771戸	86.7%
		コンクリート系	458戸	98.1%	395戸	86.2%	396戸	100.3%	389戸	98.2%	365戸	93.8%
		小計	50,958戸	99.2%	49,427戸	97.0%	49,452戸	100.1%	45,237戸	91.5%	40,556戸	89.7%
	中高層	木質系	325戸	93.4%	365戸	112.3%	488戸	133.7%	311戸	63.7%	272戸	87.5%
		鉄鋼系	2,360戸	86.8%	2,325戸	98.5%	2,334戸	100.4%	2,240戸	96.0%	1,785戸	79.7%
		コンクリート系	61戸	80.3%	60戸	98.4%	78戸	130.0%	88戸	112.8%	39戸	44.3%
		小計	2,746戸	87.4%	2,750戸	100.1%	2,900戸	105.5%	2,639戸	91.0%	2,096戸	79.4%
合計		53,704戸	98.5%	52,177戸	97.2%	52,352戸	100.3%	47,876戸	91.5%	42,652戸	89.1%	
共同建	低層	木質系	7,287戸	95.8%	6,214戸	85.3%	4,789戸	77.1%	3,065戸	64.0%	2,156戸	70.3%
		鉄鋼系	49,154戸	97.2%	41,592戸	84.6%	34,220戸	82.3%	30,877戸	90.2%	23,797戸	77.1%
		コンクリート系	253戸	102.0%	234戸	92.5%	167戸	71.4%	172戸	103.0%	150戸	87.2%
		小計	56,694戸	97.0%	48,040戸	84.7%	39,176戸	81.5%	34,114戸	87.1%	26,103戸	76.5%
	中高層	木質系	571戸	128.6%	570戸	99.8%	814戸	142.8%	474戸	58.2%	522戸	110.1%
		鉄鋼系	51,509戸	121.3%	51,365戸	99.7%	48,900戸	95.2%	46,824戸	95.8%	43,969戸	93.9%
		コンクリート系	5,965戸	93.0%	7,477戸	125.3%	9,616戸	128.6%	6,495戸	67.5%	4,982戸	76.7%
		小計	58,045戸	117.7%	59,412戸	102.4%	59,330戸	99.9%	53,793戸	90.7%	49,473戸	92.0%
合計		114,739戸	106.5%	107,452戸	93.6%	98,506戸	91.7%	87,907戸	89.2%	75,576戸	86.0%	
総合計		168,443戸	103.8%	159,629戸	94.8%	150,858戸	94.5%	135,783戸	90.0%	118,228戸	87.1%	

グラフ 3 階層別・建方別完工戸数



(一戸建の構造別、完工戸数)

- 全体で 42,652 戸のうち、木質系 10,692 戸、鉄鋼系 31,556 戸、コンクリート系 404 戸であった。  
□一戸建におけるプレハブ住宅比率は 10.7%。

(共同建の構造別、完工戸数)

- 全体で 75,576 戸のうち、木質系 2,678 戸、鉄鋼系 67,766 戸、コンクリート系 5,132 戸。  
□共同建におけるプレハブ住宅比率は 18.2%。

(一戸建の階数・構造別完工戸数)

- 1 階建では、鉄鋼系が 61.0%、木質系が 38.6%と高く、2 階建では、鉄鋼系が 75.4%、3 階建でも、鉄鋼系が 84.8%、4 階建以上では、鉄鋼系が 98.1%を占めている。  
□コンクリート系は、各階数ともにシェアは低くなっている。

(共同建の階数・構造別完工戸数)

- 1・2 階建では、鉄鋼系が 91.2%と高く、木質系が 8.3%と続く。  
□3～5 階建では、鉄鋼系が 95.6%とほとんどを占める。  
□6 階建以上では、コンクリート系が 94.4%である。

(賃貸住宅の構造別完工戸数)

- 全体 61,230 戸のうち、構造別にみると、木質系 2,127 戸、鉄鋼系 57,588 戸、コンクリート系 1,515 戸。鉄鋼系が 94.1%とほとんどを占める。  
□賃貸住宅におけるプレハブ住宅比率は 20.2%。

(サービス付高齢者向け住宅)

- 全体 1,105 戸のうち、構造別には、木質系 2 戸、鉄鋼系 1,010 戸、コンクリート系 93 戸。

表3 構造別、建方別、階数別完工 (戸数、プレハブ住宅比率)

構造	建方・階数	一戸建				合計	共同建(長屋建を含む)				総合計	うち 賃貸住宅	うち サ高住	
		1階建	2階建	3階建	4階建 以上		1・2 階建	3～5 階建	6階建 以上	合計				
木質系	A	2,154戸	8,266戸	272戸	0戸	10,692戸	2,156戸	522戸	0戸	2,678戸	13,370戸	2,127戸	2戸	
	シェア A/D	38.6%	23.6%	13.3%	0.0%	25.1%	8.3%	1.1%	0.0%	3.5%	11.3%	3.5%	0.2%	
	うちユニット	a	365戸	1,540戸	0戸	0戸	1,905戸	0戸	0戸	0戸	0戸	1,905戸	0戸	0戸
	シェア a/D	6.5%	4.4%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	
鉄鋼系	B	3,402戸	26,369戸	1,734戸	51戸	31,556戸	23,797戸	43,760戸	209戸	67,766戸	99,322戸	57,588戸	1,010戸	
	シェア B/D	61.0%	75.4%	84.8%	98.1%	74.0%	91.2%	95.6%	5.6%	89.7%	84.0%	94.1%	91.4%	
	うちユニット	b	766戸	9,140戸	337戸	1戸	10,244戸	2,586戸	224戸	0戸	2,810戸	13,054戸	2,054戸	0戸
	シェア b/D	13.7%	26.1%	16.5%	1.9%	24.0%	9.9%	0.5%	0.0%	3.7%	11.0%	3.4%	0.0%	
コンクリート系	C	23戸	342戸	38戸	1戸	404戸	150戸	1,482戸	3,500戸	5,132戸	5,536戸	1,515戸	93戸	
	シェア C/D	0.4%	1.0%	1.9%	1.9%	0.9%	0.6%	3.2%	94.4%	6.8%	4.7%	2.5%	8.4%	
合計	D	5,579戸	34,977戸	2,044戸	52戸	42,652戸	26,103戸	45,764戸	3,709戸	75,576戸	118,228戸	61,230戸	1,105戸	
	シェア	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
新設住宅着工戸数※	E					396,773戸				415,391戸	812,164戸	303,018戸		
	プレハブ住宅比率 D/E					10.7%				18.2%	14.6%	20.2%		

※国土交通省「建築着工統計調査」(2020年度)

□公的機関からの発注による完工戸数は、2020年度は208戸であり、前年度比は26.6%となった。

□構造別にみると、コンクリート系が106戸と、全体の51.0%を占める。鉄鋼系は102戸、木質系は0戸であった。

□地域別にみると、関東地方が106戸と全体の51.0%を占めており、次いで中国地方が44戸の21.2%であった。

表 4-1 構造別公的機関発注完工戸数

構造	2018年度		2019年度		2020年度		対前年度比
	戸数	割合	戸数	割合	戸数	割合	
木質系	0戸	0.0%	1戸	0.1%	0戸	0.0%	0.0%
うちユニット	0戸	0.0%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
鉄鋼系	23戸	4.2%	276戸	35.3%	102戸	49.0%	37.0%
うちユニット	0戸	0.0%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
コンクリート系	528戸	95.8%	504戸	64.5%	106戸	51.0%	21.0%
合計	551戸	100.0%	781戸	100.0%	208戸	100.0%	26.6%

表 4-2 地域別公的機関発注完工戸数

地域	2018年度		2019年度		2020年度		対前年度比
	戸数	割合	戸数	割合	戸数	割合	
北海道	0戸	0.0%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
東北	5戸	0.9%	25戸	3.2%	16戸	7.7%	64.0%
関東	1戸	0.2%	412戸	52.8%	106戸	51.0%	25.7%
中部	6戸	1.1%	20戸	2.6%	41戸	19.7%	205.0%
近畿	228戸	41.4%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
中国	304戸	55.2%	86戸	11.0%	44戸	21.2%	51.2%
四国	0戸	0.0%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
九州・沖縄	7戸	1.3%	238戸	30.5%	1戸	0.5%	0.4%
合計	551戸	100.0%	781戸	100.0%	208戸	100.0%	26.6%

(注) 地域区分は後述「資料編」参照

□ 2020年度の長期優良住宅によるプレハブ住宅完工戸数は36,492戸であり、プレハブ住宅完工総数の30.9%を占めている（前年度より1.1ポイント上昇）。これは、同年度の全長期優良住宅認定戸数を全住宅着工戸数で割った割合の12.5%と比較して、18.4ポイント高くなっている。また、全長期優良住宅認定戸数に占めるプレハブ住宅の割合は36.0%となっている。

（建方別・構造別の長期優良住宅比率）

□ 一戸建では、長期優良住宅によるプレハブ住宅完工戸数は35,782戸であり、プレハブ住宅完工戸数全体の83.9%を占めている（前年度と同率）。一戸建住宅着工戸数全体の長期優良住宅比率（25.3%）より58.6ポイント上回っている。うち木質系では77.1%、鉄鋼系では87.1%、コンクリート系では10.6%となっている。また、全長期優良住宅認定戸数（一戸建）に占めるプレハブ住宅の割合は35.6%となっている。

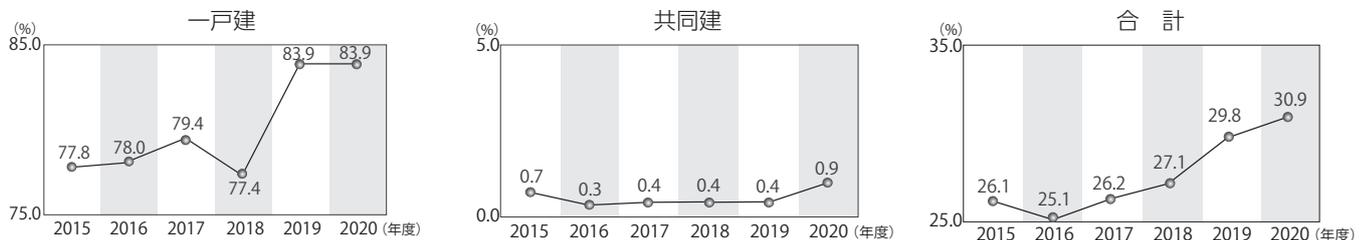
□ 共同建では、長期優良住宅によるプレハブ住宅完工戸数は710戸であり、プレハブ住宅完工戸数全体の0.9%となっている（前年度より0.5ポイント上昇）。共同建住宅着工戸数全体の長期優良住宅比率（0.2%）より0.7ポイント上回っている。うち木質系では4.1%、鉄鋼系では0.6%、コンクリート系では3.4%となっている。また、全長期優良住宅認定戸数（共同建）に占めるプレハブ住宅の割合は79.9%となっている。

表5 長期優良住宅完工（戸数、プレハブ住宅の割合）

		プレハブ住宅完工戸数に占める長期優良住宅						全国の住宅着工総数と長期優良住宅認定戸数 H	全長期優良住宅に占めるプレハブ住宅の割合 G/H
		木質系	うち ユニット	鉄鋼系	うち ユニット	コンクリート 系	合計 G		
一戸建	長期優良住宅 A	8,246戸	1,452戸	27,493戸	8,790戸	43戸	35,782戸	(注1) 100,503戸	35.6%
	プレハブ住宅全体 B	10,692戸	1,905戸	31,556戸	10,244戸	404戸	42,652戸	(注2) 396,773戸	
	長期優良住宅比率 A/B	77.1%	76.2%	87.1%	85.8%	10.6%	83.9%	25.3%	
共同建 (長屋建を含む)	長期優良住宅 C	109戸	0戸	429戸	344戸	172戸	710戸	(注1) 889戸	79.9%
	プレハブ住宅全体 D	2,678戸	0戸	67,766戸	2,810戸	5,132戸	75,576戸	(注2) 415,391戸	
	長期優良住宅比率 C/D	4.1%	-	0.6%	12.2%	3.4%	0.9%	0.2%	
合計	長期優良住宅 E	8,355戸	1,452戸	27,922戸	9,134戸	215戸	36,492戸	(注1) 101,392戸	36.0%
	プレハブ住宅全体 F	13,370戸	1,905戸	99,322戸	13,054戸	5,536戸	118,228戸	(注2) 812,164戸	
	長期優良住宅比率 E/F	62.5%	76.2%	28.1%	70.0%	3.9%	30.9%	12.5%	

（注1）国土交通省調査（2020年度）の長期優良住宅認定戸数。（注2）国土交通省「建築着工統計調査」（2020年度）の住宅着工戸数。

グラフ4 長期優良住宅比率

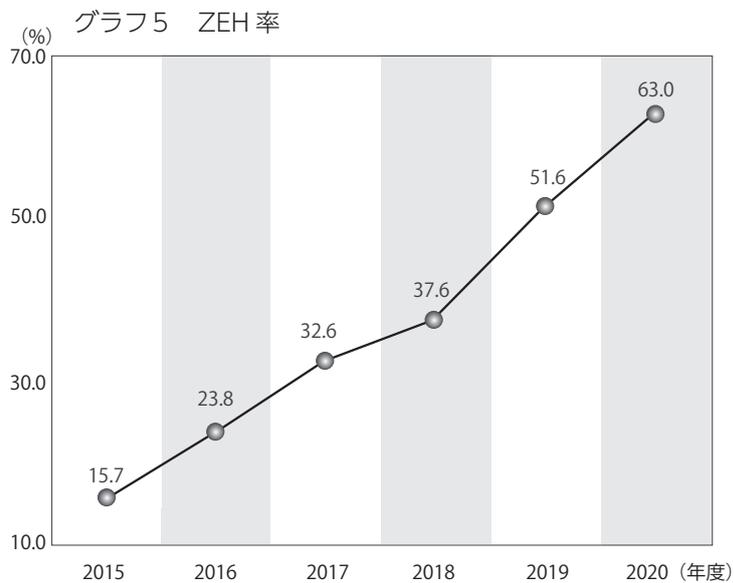


□ZEHの2020年度完工総数（一戸建）は26,883戸で、一戸建プレハブ住宅の63.0%を占めており、前年度より11.4ポイント上昇している。

□構造別にZEHの比率をみると、木質系では56.7%、鉄鋼系では66.0%、コンクリート系では0.0%であった。

表6 ZEH完工（戸数、ZEH率）

		木質系		鉄鋼系		コンクリート系	プレハブ住宅完工戸数合計
			うちユニット		うちユニット		
一戸建	ZEH A	6,064戸	1,552戸	20,819戸	7,992戸	0戸	26,883戸
	プレハブ住宅全体 B	10,692戸	1,905戸	31,556戸	10,244戸	404戸	42,652戸
	ZEH率 A/B	56.7%	81.5%	66.0%	78.0%	0.0%	63.0%



□プレハブ住宅比率の高い都道府県は、一戸建では、中部・中国地域、共同建では中部・関東地域などであり、一方、低い都道府県は、一戸建では沖縄県・富山県、共同建では九州・沖縄地域・北海道などである。プレハブ住宅戸数の多い都道府県は関東地域及び愛知県である。

## 総数

	順位	都道府県	戸数	割合
プレハブ住宅比率の「高い」都道府県	1位	奈良	1,183戸	23.7%
	2位	栃木	2,523戸	23.7%
	3位	石川	1,567戸	23.2%
	4位	静岡	4,729戸	23.0%
	5位	岡山	2,651戸	22.3%
プレハブ住宅比率の「低い」都道府県	47位	沖縄	103戸	1.0%
	46位	鹿児島	435戸	5.0%
	45位	北海道	1,663戸	5.2%
	44位	青森	312戸	5.5%
	43位	秋田	258戸	6.6%

	順位	都道府県	戸数
プレハブ住宅戸数の「多い」都道府県	1位	東京	18,056戸
	2位	神奈川	10,583戸
	3位	愛知	9,725戸
	4位	千葉	8,147戸
	5位	埼玉	7,356戸
プレハブ住宅戸数の「少ない」都道府県	47位	沖縄	103戸
	46位	秋田	258戸
	45位	鳥取	300戸
	44位	青森	312戸
	43位	島根	355戸

## 建方別・一戸建

	順位	都道府県	戸数	割合
プレハブ住宅比率の「高い」都道府県	1位	静岡	2,655戸	19.6%
	2位	三重	1,079戸	17.8%
	3位	岡山	1,159戸	17.7%
	4位	愛知	4,888戸	17.1%
	5位	山口	638戸	15.6%
プレハブ住宅比率の「低い」都道府県	47位	沖縄	72戸	2.1%
	46位	富山	123戸	3.5%
	45位	青森	171戸	4.1%
	44位	島根	77戸	4.2%
	43位	鹿児島	255戸	4.6%

	順位	都道府県	戸数
プレハブ住宅戸数の「多い」都道府県	1位	愛知	4,888戸
	2位	静岡	2,655戸
	3位	東京	2,573戸
	4位	埼玉	2,470戸
	5位	千葉	2,395戸
プレハブ住宅戸数の「少ない」都道府県	47位	沖縄	72戸
	46位	島根	77戸
	45位	鳥取	100戸
	44位	富山	123戸
	43位	秋田	161戸

## 建方別・共同建

	順位	都道府県	戸数	割合
プレハブ住宅比率の「高い」都道府県	1位	石川	1,374戸	52.6%
	2位	栃木	1,267戸	48.4%
	3位	奈良	669戸	46.5%
	4位	福井	470戸	40.2%
	5位	群馬	800戸	38.4%
プレハブ住宅比率の「低い」都道府県	47位	沖縄	31戸	0.4%
	46位	北海道	625戸	3.5%
	45位	鹿児島	180戸	5.6%
	44位	宮崎	146戸	6.8%
	43位	長崎	204戸	7.1%

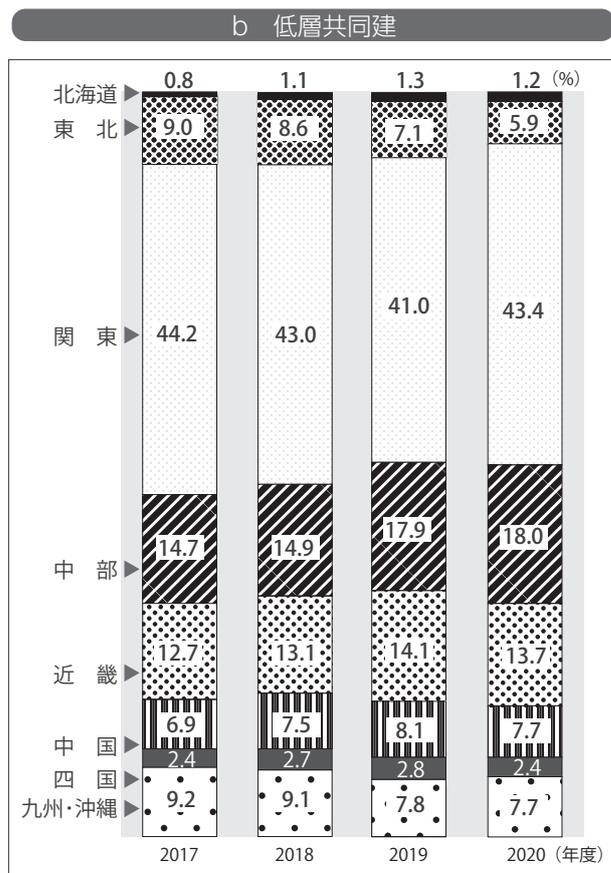
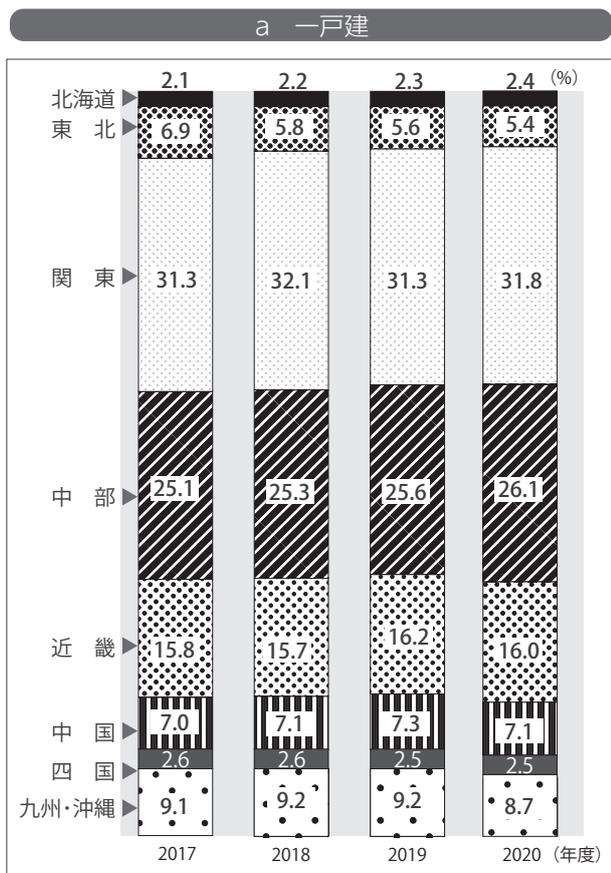
	順位	都道府県	戸数
プレハブ住宅戸数の「多い」都道府県	1位	東京	15,483戸
	2位	神奈川	8,326戸
	3位	千葉	5,752戸
	4位	埼玉	4,886戸
	5位	愛知	4,837戸
プレハブ住宅戸数の「少ない」都道府県	47位	沖縄	31戸
	46位	秋田	97戸
	44位	青森	141戸
	44位	宮崎	146戸
	43位	鹿児島	180戸

## 賃貸住宅

	順位	都道府県	戸数	割合
プレハブ住宅比率の「高い」都道府県	1位	奈良	561戸	56.1%
	2位	石川	1,139戸	44.4%
	3位	滋賀	1,021戸	41.5%
	4位	栃木	1,011戸	39.5%
	5位	福井	466戸	39.0%
プレハブ住宅比率の「低い」都道府県	47位	沖縄	0戸	0.0%
	46位	北海道	179戸	1.2%
	45位	鹿児島	150戸	5.3%
	44位	宮崎	141戸	6.8%
	43位	長崎	173戸	7.2%

	順位	都道府県	戸数
プレハブ住宅戸数の「多い」都道府県	1位	東京	11,726戸
	2位	神奈川	6,916戸
	3位	千葉	4,281戸
	4位	大阪	4,027戸
	5位	埼玉	3,911戸
プレハブ住宅戸数の「少ない」都道府県	47位	沖縄	0戸
	46位	秋田	96戸
	45位	宮崎	141戸
	44位	青森	144戸
	43位	鹿児島	150戸

グラフ6 プレハブ住宅地域別完工戸数比率



(注) 地域区分は後述「資料編」参照

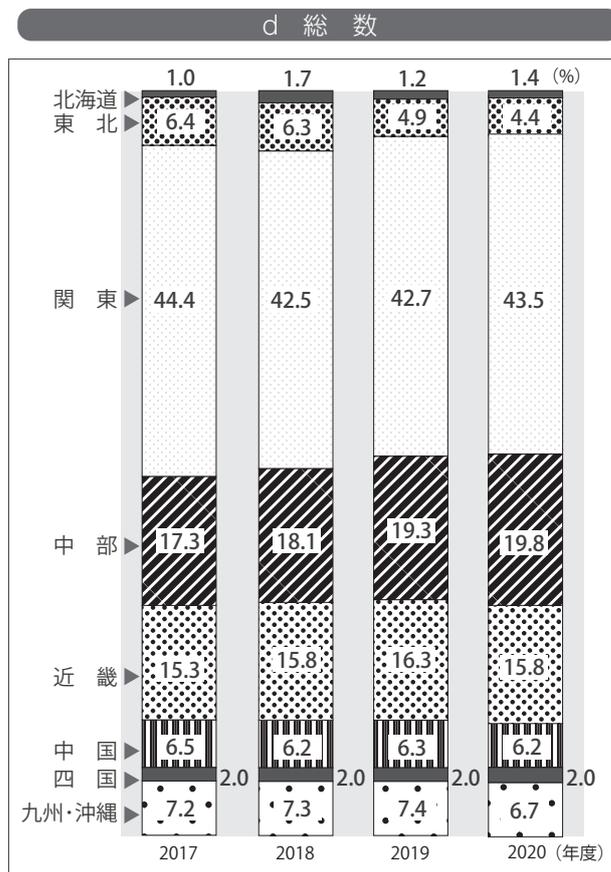
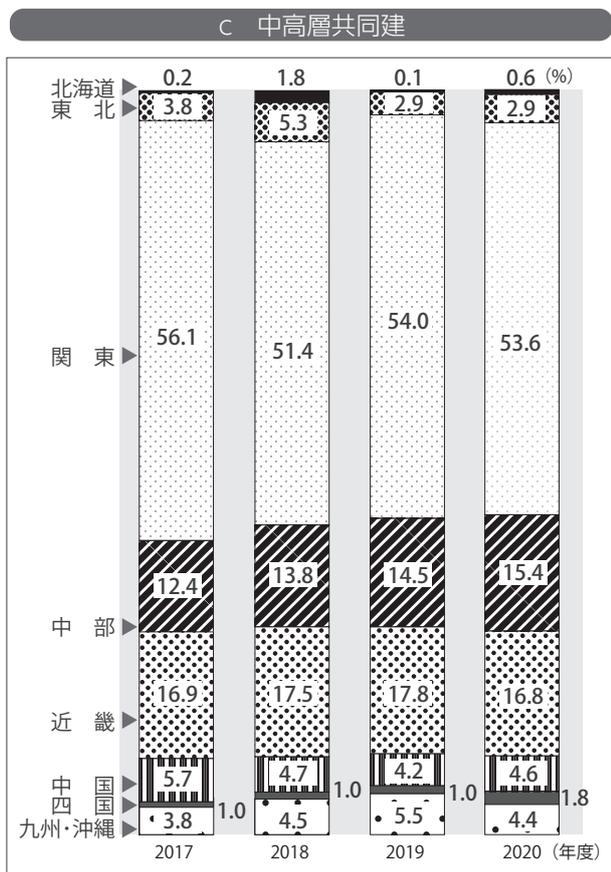


図1-1 新設住宅着工戸数に占めるプレハブ住宅比率（都道府県別）（一戸建）

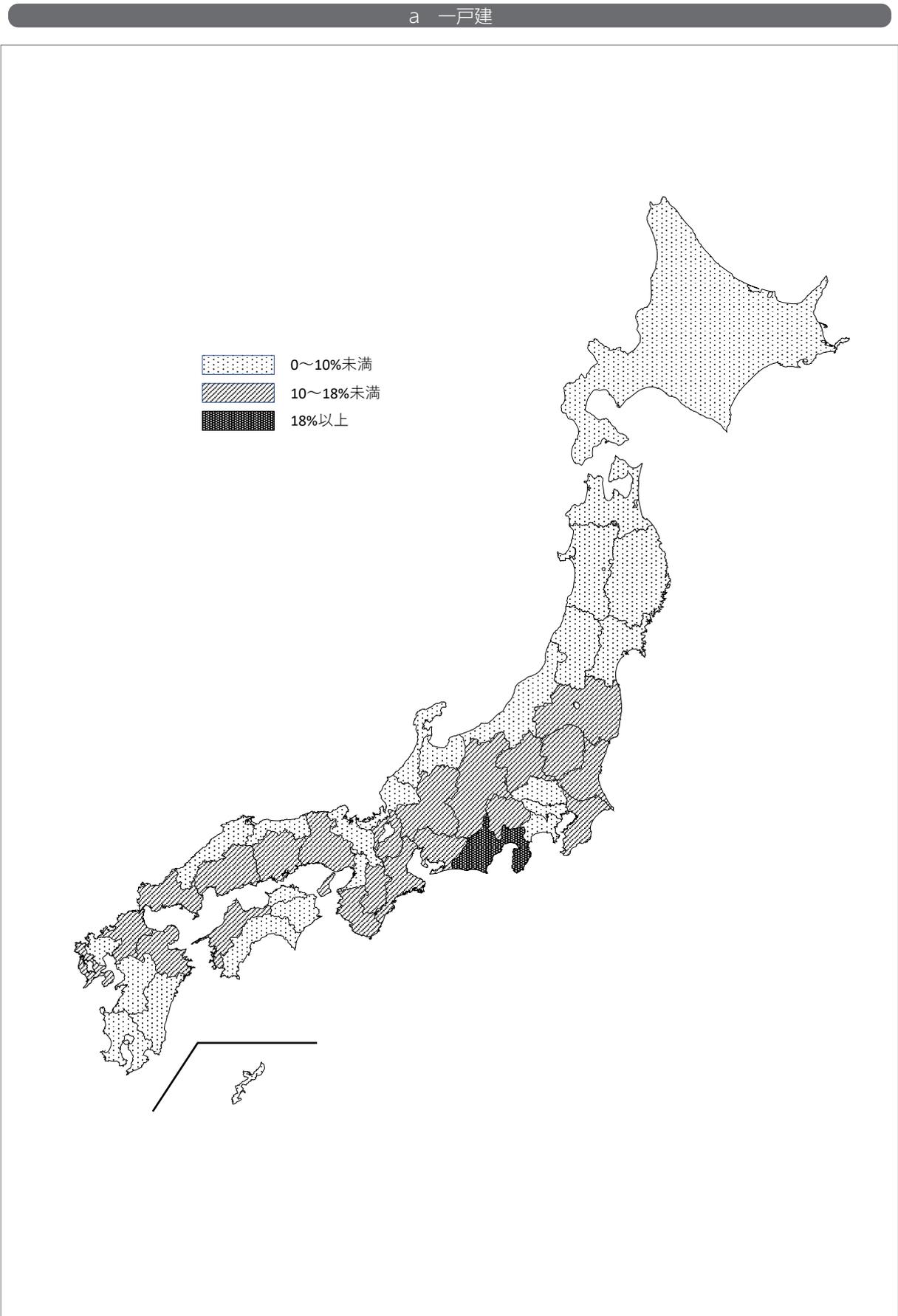


図1-2 新設住宅着工戸数に占めるプレハブ住宅比率（都道府県別）（共同建）

b 共同建

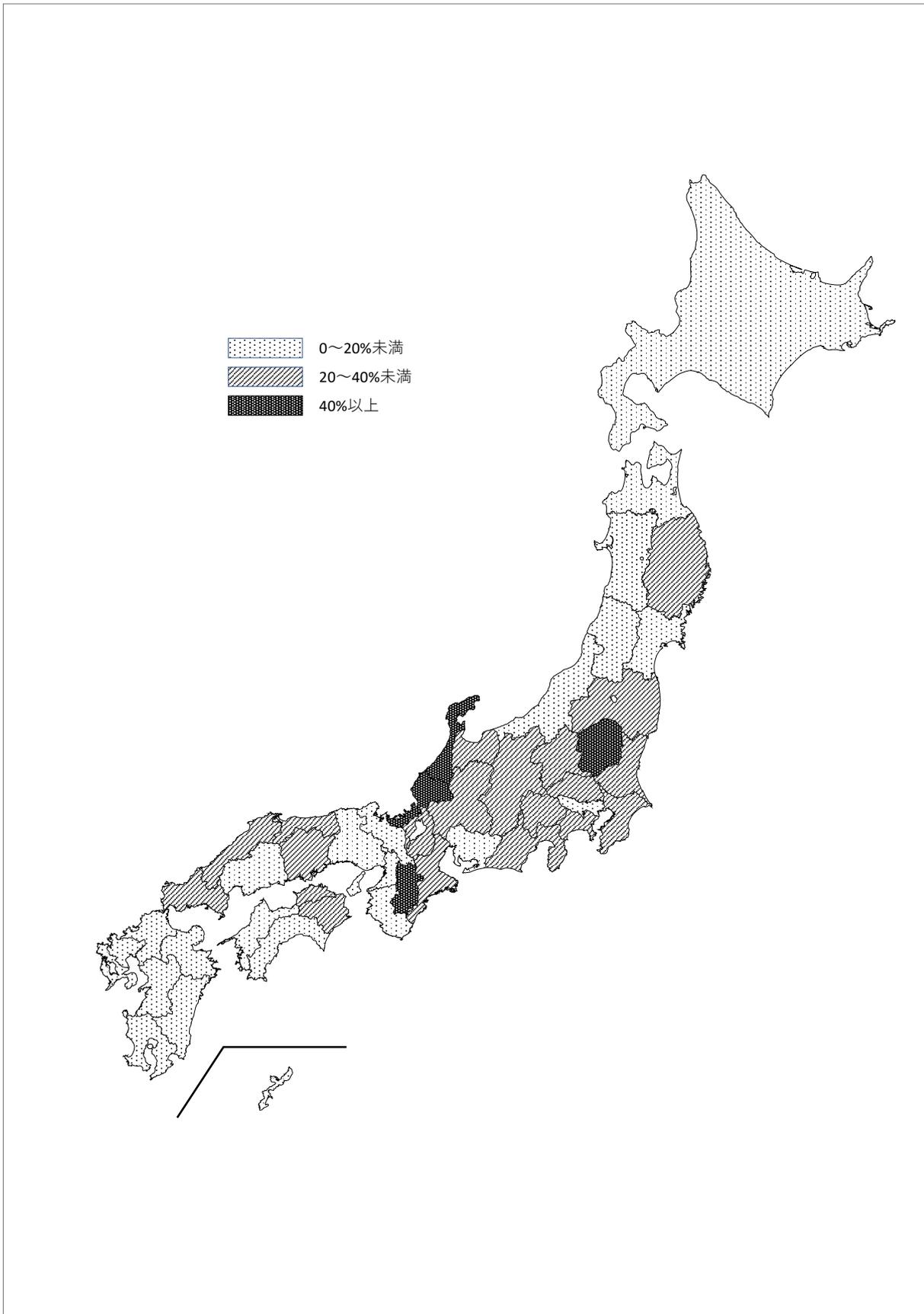


図1-3 新設住宅着工戸数に占めるプレハブ住宅比率（都道府県別）（賃貸住宅）

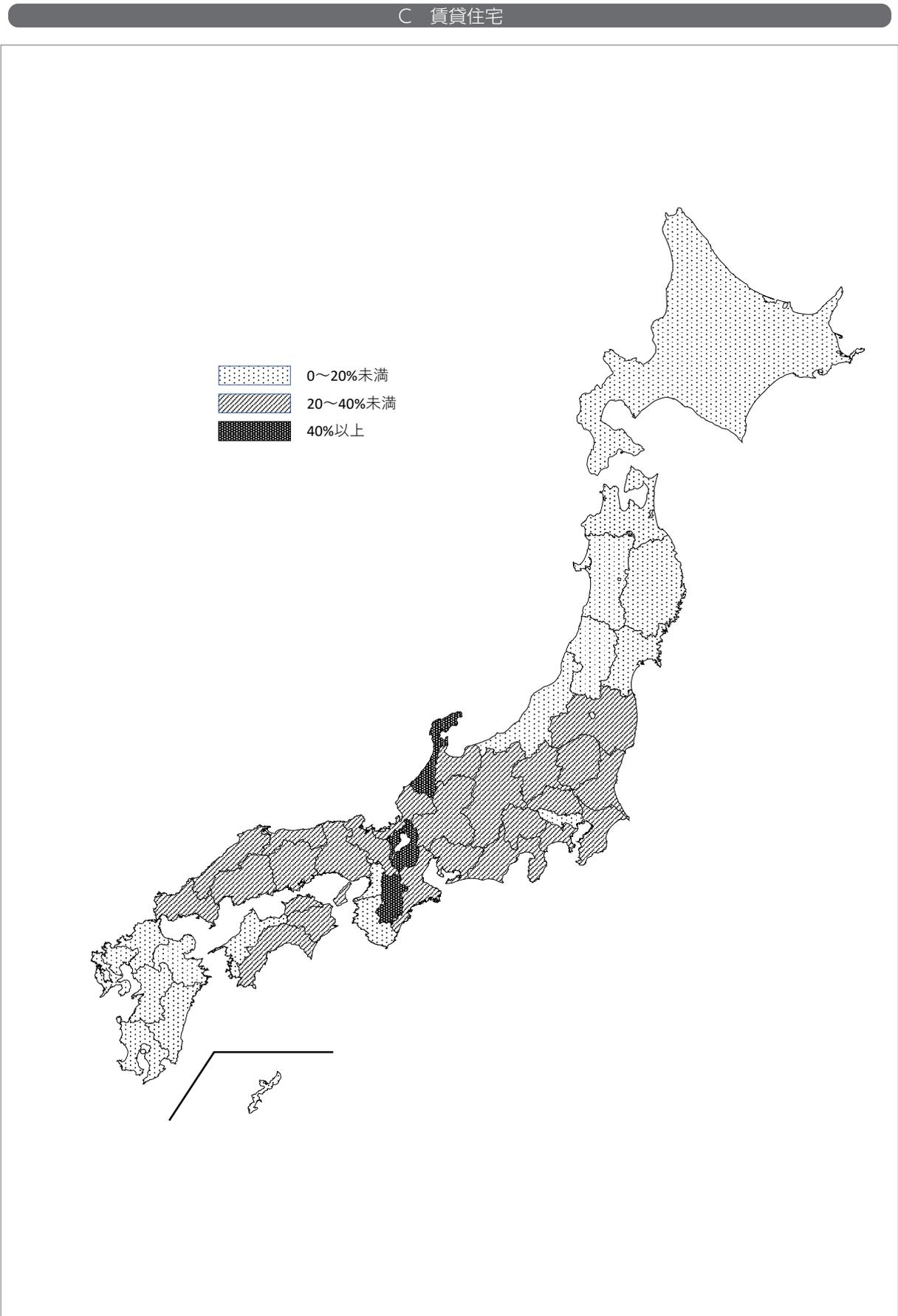


図1-4 新設住宅着工戸数に占めるプレハブ住宅比率（都道府県別）（総 数）

d 総 数

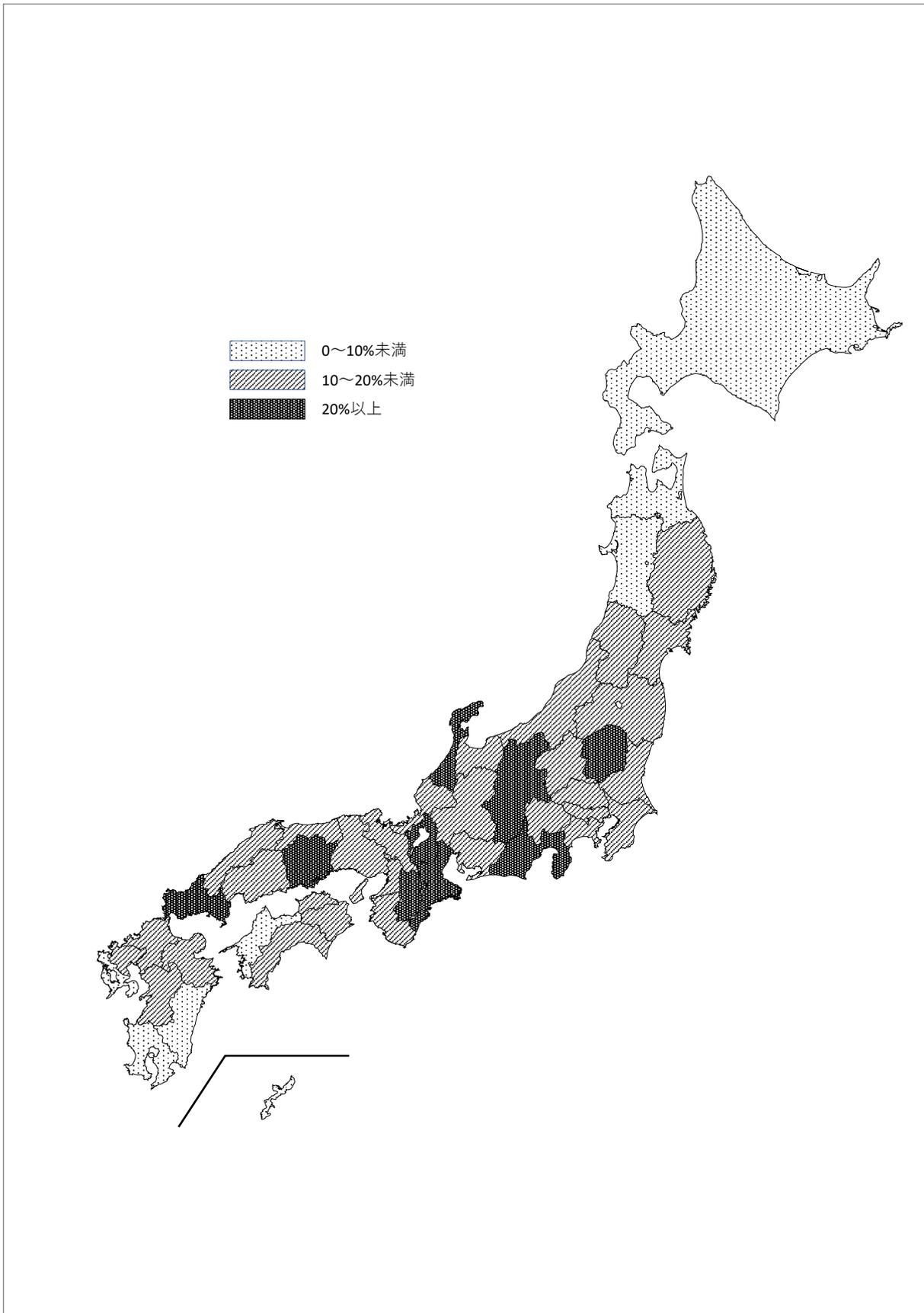


表7 都道府県別、建方別完工（戸数、前年度比、プレハブ住宅比率）

	一戸建				共同建（長屋建を含む）				総数				
	プレハブ住宅完工戸数	前年度比	新設住宅着工戸数※	プレハブ住宅比率	プレハブ住宅完工戸数	前年度比	新設住宅着工戸数	プレハブ住宅比率	プレハブ住宅完工戸数	前年度比	新設住宅着工戸数	プレハブ住宅比率	
	A		B	A/B	C		D	C/D	E		F	E/F	
全国計	42,652戸	89.1%	396,773戸	10.7%	75,576戸	86.0%	415,391戸	18.2%	118,228戸	87.1%	812,164戸	14.6%	全国計
北海道	1,038戸	94.2%	14,029戸	7.4%	625戸	127.0%	17,743戸	3.5%	1,663戸	104.3%	31,772戸	5.2%	北海道
青森	171戸	85.5%	4,172戸	4.1%	141戸	53.2%	1,479戸	9.5%	312戸	67.1%	5,651戸	5.5%	青森
岩手	282戸	84.7%	4,025戸	7.0%	551戸	110.6%	1,876戸	29.4%	833戸	100.2%	5,901戸	14.1%	岩手
宮城	643戸	84.6%	7,650戸	8.4%	1,090戸	83.2%	7,011戸	15.5%	1,733戸	83.7%	14,661戸	11.8%	宮城
秋田	161戸	80.5%	2,972戸	5.4%	97戸	64.2%	914戸	10.6%	258戸	73.5%	3,886戸	6.6%	秋田
山形	294戸	98.3%	3,617戸	8.1%	222戸	54.8%	1,293戸	17.2%	516戸	73.3%	4,910戸	10.5%	山形
福島	737戸	82.1%	6,574戸	11.2%	863戸	62.9%	2,776戸	31.1%	1,600戸	70.5%	9,350戸	17.1%	福島
東北計	2,288戸	85.1%	29,010戸	7.9%	2,964戸	74.1%	15,349戸	19.3%	5,252戸	78.5%	44,359戸	11.8%	東北計
茨城	1,638戸	91.8%	11,591戸	14.1%	1,347戸	74.8%	4,789戸	28.1%	2,985戸	83.3%	16,380戸	18.2%	茨城
栃木	1,256戸	98.7%	8,034戸	15.6%	1,267戸	98.9%	2,617戸	48.4%	2,523戸	98.8%	10,651戸	23.7%	栃木
群馬	967戸	83.1%	7,905戸	12.2%	800戸	59.3%	2,083戸	38.4%	1,767戸	70.3%	9,988戸	17.7%	群馬
埼玉	2,470戸	90.1%	27,759戸	8.9%	4,886戸	73.1%	20,216戸	24.2%	7,356戸	78.1%	47,975戸	15.3%	埼玉
千葉	2,395戸	96.9%	22,420戸	10.7%	5,752戸	103.4%	20,701戸	27.8%	8,147戸	101.4%	43,121戸	18.9%	千葉
東京	2,573戸	86.1%	32,218戸	8.0%	15,483戸	90.5%	100,957戸	15.3%	18,056戸	89.9%	133,175戸	13.6%	東京
神奈川	2,257戸	87.5%	27,554戸	8.2%	8,326戸	90.1%	34,035戸	24.5%	10,583戸	89.5%	61,589戸	17.2%	神奈川
関東計	13,556戸	90.4%	137,481戸	9.9%	37,861戸	88.0%	185,398戸	20.4%	51,417戸	88.6%	322,879戸	15.9%	関東計
新潟	556戸	92.2%	7,021戸	7.9%	608戸	46.2%	3,701戸	16.4%	1,164戸	60.6%	10,722戸	10.9%	新潟
富山	123戸	91.8%	3,471戸	3.5%	442戸	63.1%	1,702戸	26.0%	565戸	67.7%	5,173戸	10.9%	富山
石川	193戸	88.5%	4,136戸	4.7%	1,374戸	134.2%	2,613戸	52.6%	1,567戸	126.2%	6,749戸	23.2%	石川
福井	171戸	95.0%	2,793戸	6.1%	470戸	81.5%	1,168戸	40.2%	641戸	84.7%	3,961戸	16.2%	福井
山梨	461戸	87.8%	3,338戸	13.8%	304戸	78.8%	792戸	38.4%	765戸	84.0%	4,130戸	18.5%	山梨
長野	1,131戸	96.2%	8,147戸	13.9%	1,401戸	108.0%	4,005戸	35.0%	2,532戸	102.4%	12,152戸	20.8%	長野
岐阜	963戸	86.0%	7,495戸	12.8%	811戸	102.4%	3,089戸	26.3%	1,774戸	92.8%	10,584戸	16.8%	岐阜
静岡	2,655戸	94.2%	13,571戸	19.6%	2,074戸	131.1%	6,957戸	29.8%	4,729戸	107.5%	20,528戸	23.0%	静岡
愛知	4,888戸	89.3%	28,573戸	17.1%	4,837戸	77.8%	24,711戸	19.6%	9,725戸	83.2%	53,284戸	18.3%	愛知
中部計	11,141戸	91.0%	78,545戸	14.2%	12,321戸	88.7%	48,738戸	25.3%	23,462戸	89.8%	127,283戸	18.4%	中部計
三重	1,079戸	90.7%	6,055戸	17.8%	1,006戸	89.7%	3,453戸	29.1%	2,085戸	90.2%	9,508戸	21.9%	三重
滋賀	717戸	94.7%	5,486戸	13.1%	1,122戸	100.6%	3,414戸	32.9%	1,839戸	98.2%	8,900戸	20.7%	滋賀
京都	706戸	87.5%	7,331戸	9.6%	1,610戸	91.5%	8,376戸	19.2%	2,316戸	90.2%	15,707戸	14.7%	京都
大阪	1,775戸	84.3%	21,130戸	8.4%	4,624戸	75.6%	42,389戸	10.9%	6,399戸	77.8%	63,519戸	10.1%	大阪
兵庫	1,580戸	87.0%	14,257戸	11.1%	2,642戸	83.3%	16,294戸	16.2%	4,222戸	84.7%	30,551戸	13.8%	兵庫
奈良	514戸	86.2%	3,549戸	14.5%	669戸	85.8%	1,438戸	46.5%	1,183戸	86.0%	4,987戸	23.7%	奈良
和歌山	439戸	93.6%	3,103戸	14.1%	191戸	66.1%	1,349戸	14.2%	630戸	83.1%	4,452戸	14.2%	和歌山
近畿計	6,810戸	88.0%	60,911戸	11.2%	11,864戸	82.6%	76,713戸	15.5%	18,674戸	84.5%	137,624戸	13.6%	近畿計
鳥取	100戸	77.5%	1,691戸	5.9%	200戸	105.3%	808戸	24.8%	300戸	94.0%	2,499戸	12.0%	鳥取
島根	77戸	85.6%	1,845戸	4.2%	278戸	78.5%	1,291戸	21.5%	355戸	80.0%	3,136戸	11.3%	島根
岡山	1,159戸	85.2%	6,562戸	17.7%	1,492戸	91.8%	5,339戸	27.9%	2,651戸	88.8%	11,901戸	22.3%	岡山
広島	1,048戸	88.4%	8,067戸	13.0%	1,567戸	83.6%	8,014戸	19.6%	2,615戸	85.5%	16,081戸	16.3%	広島
山口	638戸	85.0%	4,078戸	15.6%	729戸	74.8%	2,341戸	31.1%	1,367戸	79.2%	6,419戸	21.3%	山口
中国計	3,022戸	85.9%	22,243戸	13.6%	4,266戸	85.0%	17,793戸	24.0%	7,288戸	85.4%	40,036戸	18.2%	中国計
徳島	186戸	90.7%	2,305戸	8.1%	231戸	75.2%	940戸	24.6%	417戸	81.4%	3,245戸	12.9%	徳島
香川	308戸	89.8%	3,117戸	9.9%	380戸	80.7%	1,571戸	24.2%	688戸	84.5%	4,688戸	14.7%	香川
愛媛	426戸	92.6%	4,186戸	10.2%	652戸	133.3%	3,768戸	17.3%	1,078戸	113.6%	7,954戸	13.6%	愛媛
高知	165戸	88.2%	1,860戸	8.9%	236戸	98.3%	1,552戸	15.2%	401戸	93.9%	3,412戸	11.8%	高知
四国計	1,085戸	90.8%	11,468戸	9.5%	1,499戸	99.5%	7,831戸	19.1%	2,584戸	95.6%	19,299戸	13.4%	四国計
福岡	1,527戸	88.3%	14,034戸	10.9%	1,963戸	72.7%	20,521戸	9.6%	3,490戸	78.8%	34,555戸	10.1%	福岡
佐賀	262戸	92.9%	3,013戸	8.7%	275戸	56.5%	1,456戸	18.9%	537戸	69.8%	4,469戸	12.0%	佐賀
長崎	329戸	88.2%	3,102戸	10.6%	204戸	71.3%	2,854戸	7.1%	533戸	80.9%	5,956戸	8.9%	長崎
熊本	561戸	69.0%	6,865戸	8.2%	946戸	82.8%	5,646戸	16.8%	1,507戸	77.0%	12,511戸	12.0%	熊本
大分	440戸	95.7%	3,484戸	12.6%	431戸	124.2%	3,057戸	14.1%	871戸	107.9%	6,541戸	13.3%	大分
宮崎	266戸	89.6%	3,676戸	7.2%	146戸	76.8%	2,141戸	6.8%	412戸	84.6%	5,817戸	7.1%	宮崎
鹿児島	255戸	73.3%	5,524戸	4.6%	180戸	95.7%	3,204戸	5.6%	435戸	81.2%	8,728戸	5.0%	鹿児島
沖縄	72戸	88.9%	3,388戸	2.1%	31戸	11.0%	6,947戸	0.4%	103戸	28.5%	10,335戸	1.0%	沖縄
九州・沖縄計	3,712戸	84.7%	43,086戸	8.6%	4,176戸	74.3%	45,826戸	9.1%	7,888戸	78.8%	88,912戸	8.9%	九州・沖縄計

※国土交通省「建築着工統計調査」（2020年度）



□ 2020年度のプレハブ住宅生産能力は、生産工場数が140工場、生産能力戸数が268,001戸であった。

□ 2019年度と比較して、工場数は変わらず、生産能力戸数は25,851戸の減少となった。

□ 生産能力戸数の構成比を構造別にみると、木質系9.4%、鉄鋼系60.9%、コンクリート系低層8.1%、コンクリート系中高層21.6%であった。

(上段：戸数)  
(中段：工場数)  
(下段：地域比)

表 8-1 プレハブ住宅生産能力 (2021年3月31日現在)

		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州 沖縄	全国	構造比 注2
木質系	能力	440戸	370戸	9,272戸	979戸	-	6,976戸	1,440戸	5,680戸	25,157戸	9.4%
	工場数	1	1	4	2	-	4	1	3	16	
	地域比注1	1.7%	1.5%	36.9%	3.9%	-	27.7%	5.7%	22.6%	100.0%	
鉄鋼系	能力	1,039戸	9,383戸	61,745戸	27,015戸	39,319戸	19,820戸	-	4,875戸	163,196戸	60.9%
	工場数	1	3	9	8	7	3	-	2	33	
	地域比	0.6%	5.7%	37.8%	16.6%	24.1%	12.1%	-	3.0%	100.0%	
コンクリート系 低層	能力	485戸	100戸	1,438戸	18,212戸	270戸	700戸	-	570戸	21,775戸	8.1%
	工場数	1	1	6	3	2	2	-	2	17	
	地域比	2.2%	0.5%	6.6%	83.6%	1.2%	3.2%	-	2.6%	100.0%	
コンクリート系 中高層	能力	5,058戸	4,175戸	25,106戸	8,367戸	7,044戸	1,592戸	545戸	5,986戸	57,873戸	21.6%
	工場数	6	6	25	12	10	3	2	10	74	
	地域比	8.7%	7.2%	43.4%	14.5%	12.2%	2.8%	0.9%	10.3%	100.0%	
合計	能力	7,022戸	14,028戸	97,561戸	54,573戸	46,633戸	29,088戸	1,985戸	17,111戸	268,001戸	100.0%
	工場数注3	9	11	44	25	19	12	3	17	140	
	地域比	2.6%	5.2%	36.4%	20.4%	17.4%	10.9%	0.7%	6.4%	100.0%	

- (注1) 地域比は総生産能力に各地域が占める割合。  
 (注2) 構造比は総生産能力に各構造が占める割合。  
 (注3) 合計の工場数は、構造毎の工場数を単純に合計したものの。  
 (注4) 木質・鉄鋼重複の工場はそれぞれ1とカウントしている。  
 (注5) コンクリート系低層とコンクリート系中高層の重複工場はそれぞれ1とカウントしている。

表 8-2 プレハブ住宅生産能力推移 (2021年3月31日現在)

(上段：戸数)  
(下段：工場数)

		2016 年度	構造比 注2	2017 年度	構造比	2018 年度	構造比	2019 年度	構造比	2020 年度	構造比
木質系	能力	39,980戸	14.6%	48,410戸	16.6%	52,550戸	17.6%	51,540戸	17.5%	25,157戸	9.4%
	工場数	20	16.1%	18	13.8%	18	12.9%	17	12.1%	16	11.4%
鉄鋼系	能力	180,078戸	65.8%	184,277戸	63.3%	186,651戸	62.7%	182,621戸	62.1%	163,196戸	60.9%
	工場数	32	25.8%	32	24.6%	35	25.0%	32	22.9%	33	23.6%
コンクリート系 低層	能力	2,916戸	1.1%	2,310戸	0.8%	3,135戸	1.1%	7,975戸	2.7%	21,775戸	8.1%
	工場数	14	11.3%	15	11.5%	16	11.4%	17	12.1%	17	12.1%
コンクリート系 中高層	能力	50,717戸	18.5%	56,004戸	19.2%	55,567戸	18.7%	51,716戸	17.6%	57,873戸	21.6%
	工場数	58	46.8%	65	50.0%	71	50.7%	74	52.9%	74	52.9%
合計	能力	273,691戸	100.0%	291,001戸	100.0%	297,903戸	100.0%	293,852戸	100.0%	268,001戸	100.0%
	工場数	124	100.0%	130	100.0%	140	100.0%	140	100.0%	140	100.0%

表 8-1(注)と同じ。

## (参考) 災害時における応急仮設住宅の建設

当協会は、地震、風水害などの自然災害で被災された方々に一刻でも早く応急仮設住宅を供給できるよう全都道府県知事と当協会長との間で「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」を締結している。災害救助法が適用された都道府県知事からの応急仮設住宅の建設要請を受け、当協会は当該都道府県知事に対し会員会社を斡旋している。

2019年度は、令和元年東日本台風（台風第19号）による災害を受けて、宮城県大郷町（45戸）・丸森町（208戸）、茨城県大子町（15戸）及び長野県長野市（45戸）に、計313戸の被災者用応急仮設住宅を建設した。また、埼玉県川越市に、76床を有する福祉仮設住宅を建設した。

2020年度は、建設実績はなかった。

表9 災害時における応急仮設住宅の建設実績

2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度	
岩手県	11,379戸	福岡県	25戸	東京都	46戸	長野県	35戸	鹿児島県	27戸
宮城県	21,572戸			山口県	40戸			沖縄県	3戸
福島県	10,004戸			鹿児島県	25戸				
栃木県	20戸								
千葉県	230戸								
長野県	55戸								
奈良県	57戸								
和歌山県	44戸								
	43,361戸		25戸		111戸		35戸		30戸

2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
岩手県	171戸	-	-	北海道	208戸	宮城県	253戸	-	-
熊本県	3,605戸			岡山県	158戸	茨城県	15戸		
				広島県	178戸	長野県	45戸		
				愛媛県	12戸	埼玉県	76床		
				北海道 (福祉仮設住宅)	144床	(福祉仮設住宅)			
	3,776戸		0戸		556戸		313戸		0戸

(注1) 上記の戸数は、プレハブ住宅完工戸数には含まれていない。

(注2) 年度区分は、災害発生年度としている。

(注3) 2018年度の合計戸数556戸には、福祉仮設住宅（北海道144床）は含まれていない。

(注4) 2019年度の合計戸数313戸には、福祉仮設施設（埼玉県76床）は含まれていない。